

別紙標準様式(第7条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度(2024年度)第3回枚方市NPO活動応援基金支援審査会
開 催 日 時	令和7年(2025年)3月24日(月) 13時30分から 18時50分まで
開 催 場 所	枚方市総合文化芸術センター 別館 第5会議室
出 席 者	会 長：海老原智子委員 副会長：中嶋貴子委員 委 員：増井隆彦委員、津浦啓子委員、藪田雪子委員
欠 席 者	1名(林勇太委員)
案 件 名	1. 枚方市NPO活動応援基金による補助事業の審査について 2. その他
提出された資料等の 名 称	・資料① NPO活動応援基金補助事業 審査の流れ ・資料② 第3回枚方市NPO活動応援基金支援審査会 タイムスケジュール ・資料③ 補助金交付申請状況 ・資料④ 過去の申請実績・事業内容・講評内容 ・評価表 ・申請書類一式
決 定 事 項	補助事業の採択と補助額
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	公開。 但し、案件1については枚方市情報公開条例第5条第6号の規定する非 公開情報を含む事項に関する審議等を行うため、一部非公開。
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表。 但し、会議の非公開部分については、結果のみ公表。
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 (事 務 局)	市長公室 市民活動課

審 議 内 容

1 開 会

○ 海老原会長

定刻となりましたので、これより令和6年度第3回枚方市NPO活動応援基金支援審査会を開催いたします。本日は、ご多忙のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

それでは案件に入る前に、まず、委員の出席状況について事務局より報告をお願いします。

○ 事務局

本日は、委員6名中、5名の出席をいただいておりますので、枚方市附属機関条例第5条第3項の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。

次に、本審査会の公開・非公開についてご説明いたします。本市では、会議の公開・非公開について、枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程を定めており、第3条で、審査会の会議は特別な場合を除き、原則、公開するものとしております。

なお、審査会の会議の「公開」または「非公開」の決定は、当該会議に諮って行うものとされております。

昨年度の「補助事業の審査」を議題とした第3回の審査会においては、法人によるプレゼンテーションのみ公開とし、「事前調整」及び「補助事業の審査」については、枚方市情報公開条例第5条第6号による非公開情報（公表することにより審議において、率直な意見交換や意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれのある情報）が含まれる事項について審議を行うため、「非公開」としておりました。

○ 海老原会長

今回の審査会においても、事前調整及び補助事業の審査の部分については、「非公開」とすることでよろしいでしょうか。

○ 各委員

異議なし

○ 海老原会長

それでは、事前調整及び補助事業の審査の部分については、「非公開」の取扱いとさせていただきます。会議録については、いかがでしょうか。

○ 事務局

会議録についても、同様に枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程第6条及び第7条に定められており、「公開」または「非公開」の決定も当該会議に諮って行うものとされております。

○ 海老原会長

会議録についても会議の公開と同様の取り扱いとし、基本的に「公表」し、事前調整及び補助事業の審査の部分について「非公表」とすることでよろしいでしょうか。

○ 各委員

異議なし

海老原会長

会議録についても、同様の取扱いとさせていただきます。それでは、非公開である事前調整に入ります。事務局から説明をお願いします。

(配付資料の確認・資料説明／内容については、非公開)

2 議 題

＜案件（１）枚方市NPO活動応援基金による補助事業の審査について＞

【申請法人によるプレゼンテーション及び質疑応答】

法人名：特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

事業名：「幼稚園退園後の親子の居場所づくり事業」

えほんのお部屋ひまわり畑

(プレゼンテーション 約5分)

薮田委員

今のお話にはなかったのですが、昨年、課題として運営スタッフのことを申し上げていると思うのですが、今年の申請書にはボランティアスタッフが2名と高齢者のボランティアが1～2名という人員体制で書いておられると思います。この人数でイベントやボードゲームなどの遊びを滞りなく進めることは可能でしょうか。

えほんのお部屋ひまわり畑

普段の火曜日・木曜日については見守りスタッフですので、相手をして遊ぶというよりは、安全に遊んでいるか見守るという役割で、2名体制としています。私どもの施設はそれほど広い方ではありませんので、1階と2階のフロアに分かれて、1人ずつ配置しているという形になります。高齢者のボランティアの方にもひと月に1回は来て手伝っていただき、そこで一緒に遊びをしていただけたらと考えています。行くたびに違う方や知らない人がいるという場所は新鮮でもあり、いろいろな交流の場となり得るのですが、一方で親御さんが安心して遊べる場所として、常に安心感を確保することはなかなか難しい状態です。よって、決まった高齢者の方に来ていただくとなると、このくらいの人数が適切かと考えています。イベントなどの時にも2名体制で実施しますが、親御さんも一緒に参加されますし、講師が中心にやったださるので、この人員で足りていると思います。

中嶋副会長

エコラップ体験会は夏休みなので人数は違うかもしれませんが、各回の参加者数は平均5人とあります。すべての回で5人くらいの参加者ですか、また親子なのか子どもだけなのかどちらですか。

えほんのお部屋ひまわり畑

参加人数の詳細ということになりますと、だいたい6人、平均で親御さんが5.4人、普段の午後2時半から5時までの開室している時の利用者の平均はこのくらいです。エコラップ体験会についてはもう少し定員を多くとって募集をしたいと考えております。

中嶋副会長

今回申請いただいているイベント、ボードゲーム会、ウクレレ会等については、概ね親子で5組、会場に10人くらいいるという感じですか。

えほんのお部屋ひまわり畑

そうです。親子で平均してそのくらいです。

海老原会長

さきほど平均5組と仰っていましたが、必ず親子で来られるのですか。

えほんのお部屋ひまわり畑

そうです。

海老原会長

平均滞在時間はどれくらいですか。1時間でも、少しの時間でも来られるのか、もしくは来られたらずっとおられるのでしょうか。

えほんのお部屋ひまわり畑

どちらもあります。習い事の待ち時間などに遊ばせてくださいと来られる方や、買い物などのついでに寄らせていただきましたという方、「今日はひまわりで遊ぶよ」と言って午後2時半から5時まで来られる方もいます。いろいろな形でご利用いただいていると思います。

中嶋副会長

本事業は、過去からの積み重ねとして、今後団体の自立した活動を応援したいという願いで補助しているものです。昨年度もコメントさせていただいているのですが、今後の活動について、今年は団体希望寄附を1万円受けておられますが、例えば、今後の広報や活動を継続していくための見通しなどをご存じの範囲で教えてください。

えほんのお部屋ひまわり畑

まずは会費収入がありますので、広報をして会員を増やしていくということが一つあります。保育の事業では、一時預かりということがありますが、これも広報が大切だと考えています。

中嶋副会長

重ねて、昨年度からの人数の変動はいかがですか。これまでの方が卒業されたり、引っ越しされたりすることがあると思いますが、新規の会員の増え方などはいかがですか。

えほんのお部屋ひまわり畑

正確な数は把握していませんが、4月から新たに幼稚園に入園するので利用できなくなると言っておられた方も、「ブレイクの一む」のような幼稚園退園後に参加できる事業があるのだったら、来年度も継続しようと言ってくれる方が増えています。赤ちゃんが生まれて1歳になるまでの方が会員になることが多いのですが、新たに幼稚園に入園された方が、幼稚園退園後の行き先として「ブレイクの一む」を他の方へ紹介して下さるおかげで、幼稚園児しかいない家庭で会員になって下さる方が確実に増えていると思います。

法人名：特定非営利活動法人すこやか地域支援協会

事業名：すこやかサポーター啓発

○ すこやか地域支援協会

(プレゼンテーション 約5分)

○ 藪田委員

すこやか地域支援という課題については、行政もたくさん実施していますし、社会福祉協議会なども熱心に取り組んでおられると思います。そこであえてNPOを立ち上げ、ご自身の住んでいる場所といった小さい地域だけではなく、枚方市全域で事業を実施されるということですが、なぜそのように考えられたのでしょうか。例えば、行政と一緒に実施する取り組みを考えておられるのであればそれを教えていただきたいですし、そうでなければなぜ別で実施しようとしているのかをお聞きしたいです。

○ すこやか地域支援協会

行政と一緒に実施する事業という点では、市から委託を受け事業を実施しています。「介護運動教室」という事業については広報ひらかたに掲載していますし、地域の全包括支援センター等と連携した「教室型通所サービス」という事業も実施しています。それらの事業を通して出た課題として、きめ細やかなサポートを行うことができないということがあります。社会福祉協議会においても認知症サポーターという取り組みをされていますが、行政が実施する事業は高齢者向けのものであって、そのご家族や一般の市民の方に対するアプローチが弱いと思ったため、このようなサポーター事業を考えさせていただきました。

○ 藪田委員

委託料については、令和5年度の活動計算書の中の経常収益の4の②に記載されているものが、枚方市からの委託料にあたりますか。

○ すこやか地域支援協会

枚方市では令和6年から始めましたので、令和5年度は異なります。

○ 藪田委員

令和5年度の収入も高額ですが、どのような内容を含むものですか。

○ すこやか地域支援協会

これは交野市から委託を受け実施している介護予防事業の委託料です。交野市でも委託事業を実施しており、令和6年度からは枚方市からも委託を受け実施しています。

○ 中嶋副会長

事業実施の体制について、参加者各50名で7月・11月・3月に3回講座を開催予定ということは、リピーターの方も含めて延べ150人程度ということでしょうか。今回の事業としては、フレイルに対して認識のない市民に対する啓発を行い、講座を重ねて受講することで、より効果が得られるという取り組みということですか。講座というのは連続講座のようなイメージでしょうか。

○ すこやか地域支援協会

基本的には同じ講座を3回開催させていただきます。認知症についてのお話を30分程度、フレイル予防のために取り組むべき運動や栄養等について30分程度お話しさせていただきます、残りの30分で脳トレやくらわんか体操などの運動を行い、家でもこのようなことを行ってくださいねというお話をさせていただきます。

○ 中嶋副会長

広報される際の対象者としては、従来の行政の委託事業や介護保険事業で対象とならない、65歳以上の今後フレイルの対象になるような方々を広げていくということでしょうか。

すこやか地域支援協会

65歳以上という制限を設けるわけではなく、20代や30代、親が団塊の世代である40代や50代の方が、フレイル予防等について知ること、ご家族に気を付けるべきことを言えるような取り組みを実施したいと思っています。1号被保険者である65歳以上の方以外の方まで対象者を広げていくことが事業の狙いの一つです。

増井委員

事業計画書の3ページ目「4.事業実施の体制」の「(3)その他の体制」について、学校を2つ書いておられますが、学生に手伝っていただくことを想定されているのでしょうか。

すこやか地域支援協会

私は兵庫鍼灸専門学校で評議員を務めており、平成医療学園専門学校では講師を務めています。学生が通学している間からこのようなボランティアに関わることによって、自分たちは医療をしながら予防もしていくんだという視野を持ってもらいたいと思っています。そして、学生が資格を取得し医療や介護に携わることになった際に、高齢者だけではなく、若い人にもアプローチする視野を持っていただきたいと思っています。

増井委員

学校のカリキュラムの中に入っているということではなく、学生が自主的に参加するということですか。

すこやか地域支援協会

そうです。学生の頃からこのような活動について知ってもらい、資格取得後は枚方だけではなくいろいろな地域で活動してもらい、全国へ広げられるようにしたいと思っています。

増井委員

事業に参加される学生とサービスを受けられる方双方にメリットがあるということですね。

すこやか地域支援協会

当法人には、鍼灸院などを開業している個人事業主の先生が130人くらい会員としておられます。個人事業主の方はふるさと納税を行っている人がほとんどで、このような事業をしている枚方市にふるさと納税をしてくださいをお願いしているので、今年は多くの寄附金を集めることができると思います。枚方市にも納税という形でお力になれると思います。

津浦委員

すこやかサポーターをたくさん育てようということですか。

すこやか地域支援協会

そうです。健康意識の高い方にフレイルや認知症等について知っていただくということですね。

津浦委員

周囲の方へ注意喚起するだけでなく、それらの方が次の段階として、集まって何かを
するといったことはお考えですか。

すこやか地域支援協会

「すこやかマネージャー」として、認知症やフレイルのことを知っていただいて、相
談窓口の一人になってもらいたいと考えています。

津浦委員

相談窓口ですか。

すこやか地域支援協会

現在、ケアプランセンター、デイサービス、訪問看護などに施術者がたくさんおられ
ますので、その方たちに相談窓口になっていただきたいと思います。相談者のリストを
作成し、そこへ行けば相談に対応してもらえるとという窓口にしたいと思っています。

中嶋副会長

成果の確認方法ですが、医療関係者の方なのでご存じかと思いますが、その講習を受
けたことで、心身の健康もしくはその後の意識に変化があったかということの効果・検
証というのはどのようにされるのですか。

すこやか地域支援協会

アンケートをとります。

中嶋副会長

アンケートをその後どのように活用されますか。アンケートの結果分析の仕方です。

すこやか地域支援協会

アンケートの結果を受け、体操などでチェックをしようと思っています。片足立ちで
何秒立てるようになったかなどを、7月に来られた時、その4か月後、そのまた4か月
後で計測し、どのくらい伸びてるかを測らせていただこうと思っています。

法人名：NPO法人ひらかた生物飼育部LABO

事業名：ICTを活用した環境教育事業

ひらかた生物飼育部LABO

(プレゼンテーション 約5分)

藪田委員

駅前のビオルネの大型モニターというものを、通行する人がみんな立ち止まって見る
ものなのかというのが疑問です。私は自然が好きなので見ると思いますが、自然を好き
ではない人は見ないと思います。先ほどの動画も非常にまじめで、好きだから見る、け
れど、好きではない人がはたして見るのか、という視点が少し抜けているのではないか
と感じました。その点をどのように改善されるのかお聞きしたいです。

ひらかた生物飼育部LABO

ビオルネの周辺には信号があり、また、いろいろなお店もありますので、意識してい
なくても音が大きいので、漏れ聞こえてくるというのはあの場所の強みだと思ってお
ります。信号待ちの間に見えるところに大型モニターがありますので、興味がなくても勝
手に聞こえてくるというのは、戦略的に良いと思っております。生き物にまったく興味
がなく、ネガティブな考えを持っている方の興味を引くことは難しいかもしれません

が、「池の水全部抜く大作戦」という番組など、いろいろなテレビ番組が、生き物に興味がない方の間でも盛り上がっているのは、水の中にどんな生き物がいるのか気になる人が多いからではないかと思います。生き物に興味のない人にも、少しでも興味を持って聞いてもらえるよう、テーマ設定をしっかりとしていきたいと考えております。

藪田委員

私からのアドバイスは、生き物が嫌いな人をメンバーに入れることです。大嫌いという人を入れないと、分からないと思います。

ひらかた生物飼育部LABO

ありがとうございます。

中嶋副会長

資金面でお伺いします。団体希望寄附を14万円集めておられ、去年からすごく増えていると思うのですが、どのようにして増やされたのでしょうか。

ひらかた生物飼育部LABO

InstagramやXなどのSNSでの呼びかけや、小学生と一緒に団体に加入されている保護者の方のロコミが、寄附を増やすことに繋がったのではないかと思います。

中嶋副会長

InstagramやXなどのSNSのフォロワーはどれくらいいらっしゃるのですか。寄附者には枚方市の方が多いのかなと思ったのですが、市内在住ですと返礼品がもらえないと思います。それでも寄附してくださった方が多いというのはとても素晴らしいことだと思います。寄附金額が伸びた場合には、伸び率などを記録されると、今後の皆さんの活動を可視化するのに良いと思います。

ひらかた生物飼育部LABO

ツイッターのフォロワーは600~700人近くになります。保護者の方は、寝屋川市や京田辺市の方など、枚方市外の方も結構いらっしゃるようで、その方々から寄附いただいたというのもあるかと思います。

増井委員

2点質問があります。まず1つ目ですが、YouTubeで動画を公開されるということですが、YouTubeで公開されると広告収入は入ってこないのですか。

ひらかた生物飼育部LABO

まったく広告収入を入れない設定というのがあるようです。私は府立高校の教員なのですが、府立高校でもYouTubeのチャンネルを持っており、収入なしの設定で学校の広報活動などに使っています。

増井委員

例えば、大学生の旅系のユーチューバーなどは、広告収入が1000万円を超えと言います。それくらいの収入が見込めれば、活動費に充てられるのではないかと思います。

2つ目の質問ですが、15秒から30秒の動画を想定されているということで、先ほど動画を見ましたが、短いと感じました。生き物保護が目標ですし、例えば、この地区でどの外来生物が今一番多いのかといった内容を加え、もう少し動画を見たいと感じる人にも見ていただくことで、YouTubeの広告収入を増やすことができると思います。

また、ドローンを購入されるということですので、ドローンで撮った動画を加えるとさらに視聴者が増えるのではないかと思います。それにより、本補助金を活用して購入されるノートパソコンやドローンが生きてくるのではないかと思います。

動画の時間をこの秒数にしているのには何か理由があるのでしょうか。

ひらかた生物飼育部LABO

ビオルネの大型ビジョンで映す場合、テレビCMのような15秒や30秒といった長さを条件とされているため、それに合わせた長さで動画を作成させていただきました。YouTubeなどで本格的な内容を出すということであれば、それに合わせた長い動画も作りたと思っています。

増井委員

地域の先生も活動に参加されておられるので、専門性も高く、勉強になるのではないかと思います。

中嶋副会長

動画作成等に大学生が入っておられますが、これは卒業生の皆さんですか。

ひらかた生物飼育部LABO

卒業生です。

中嶋副会長

今回の動画作成に謝金をあげておられないのは、動画作成のスタッフが会員さんということで、通常だとNPOから業務を依頼されるのであれば謝金を出すのは問題ないと思いますが、今回は皆さん了承の上で、ボランティアで作るということで、確認を取られているのでしょうか。

ひらかた生物飼育部LABO

はい。

中嶋副会長

以前在校生であった代表理事も代わっておられませんし、卒業生の皆さんがそのように団体に残っておられますが、高校生の皆さんは卒業後も自主的にこの団体の活動に参加されているということですか。

ひらかた生物飼育部LABO

はい。2024年度に卒業した生物飼育部の部員も、3月中に会員になり、一緒に活動しています。携わってくれている人が増えている状態です。

津浦委員

ビオルネの大型モニターですが、私も横を通ることがあるのでこれから見ようと思っております。使用料が月に2万2000円×12ヶ月ですが、1日に何回ぐらい動画が流れるのですか。

ひらかた生物飼育部LABO

30秒の動画でしたら、1時間当たり2回流れると聞いています。

法人名：特定非営利活動法人陽だまりの会

事業名：精神障害者に関する地域交流事業（交流会と講演会）

陽だまりの会

(プレゼンテーション 約5分)

○ 藪田委員

昨年の講演会については、斎藤先生が講師で非常に良かったけれども、参加者は当事者、家族、支援者が多かったとのことでしたので、ダイバーシティについての講演会も実施すれば良かったとお話されていまして、今年度も講演会は1回だとされていますが、ダイバーシティについての内容と専門性の高い内容で2回講演会をされるのかと思ったのですが、なぜ1回しかされないのでしょうか。

○ 陽だまりの会

去年は補助金交付決定をいただいて検討したところ、日常業務を抱えている中で、2回講演会を開催することは困難ではないかという意見が出たため、結果的には1回のみで開催とするけれども、有名な人を呼ぼうということにさせていただきました。今年度予算を縮小する中で、どのような形で開催できるかについては何とも言えないのですが、複数回の開催も含めて検討していきたいと思っておりますし、できるだけ幅広い方に来ていただきたいと思っております。

○ 中嶋副会長

交流会の中身について、もう少し具体的にどのようなものか教えてください。

○ 陽だまりの会

令和6年度は、市内の障害者事業所に呼びかけ、団体の敷地内に模擬店を出し、地域の方に来ていただいて、2～3時間飲食して楽しんでいただいた後、地域でライブ活動をされている方をお呼びして歌を歌っていただき、最後に参加者に景品をお渡しするというような催しをさせていただきました。あいにく大雨のため屋内でさせていただきましたのですが、想定よりもたくさん来ていただけたと思います。100人を超えるくらいの参加者でしたが、模擬店の方もほぼ完売できていたので良かったかなと思っております。

○ 中嶋副会長

交流というのは、地域住民の方との交流という意味ですか、もしくは出店団体同士の交流ということですか。

○ 陽だまりの会

出店団体とは、頻繁ではないですが、日頃から連絡を取り合ったり、情報交換をしたりする間柄ですので、むしろ、地域の住民さんとの交流をするということです。令和6年度は、校区コミュニティ協議会に依頼し、作成したチラシを各自治会で回覧していただきました。

当法人はずっとミニコミ誌も作ってまして、チラシを挟んだものを会員などが地域にポスティングし、周知させていただいたところです。とても手厚いというわけではないですが、こんなことをやってるんだなというのを理解していただけているかなと思います。看板も大きく作っていて、ちょうど山田中学校と交北小学校の帰り道のところにありますので、子どもたちにもそれを見てもらっていると思います。

○ 増井委員

情報発信性という観点からですが、事業収支予算書を見ますと、昨年と同じ印刷製本費ということで予算を上げておられるんですけど、これだけ素晴らしい活動をより多くの人に知っていただくため、例えば、ネット配信は考えておられないのでしょうか。

○ 陽だまりの会

法人のホームページで催しのお知らせをさせていただいております。InstagramとYouTubeもやっておりまして、YouTubeでは交流会が終わってからの映像を流し、このような活動をやっているということを知っていただいております。ただ一方で、市民講座でアンケートを取り、どのようにして講座について知りましたかという質問では、68件の回答の中で34人がチラシで知ったという結果でした。ホームページは5人くらいですので、もっと方法はあると思うのですが、チラシの効果が結構あると思いました。

令和5年度に講演会をさせていただいた際と同様に、令和6年度も新聞社へチラシを送らせていただいたところ、朝日新聞が連絡をくれたのですが、その時点で定員がいっぱいになってしまっていたので、載せていただくことができませんでした。

○ 増井委員

例えば、この講演会ですが、参加しようと思ったけれども日時が合わず参加できないということがあるのもったいないと思います。YouTubeで広告収入ありの設定で配信すると、新たな財源も期待できそうですね。

○ 陽だまりの会

今回は講師の方から内部資料とさせていただきますということでしたので、配信するには別の方法を考える必要がありますが、今後検討していきたいと思います。

○ 海老原会長

収支予算書の中で、自己資金5万円の会費というものがございまして、これは、当日集めるものではないですね。

○ 陽だまりの会

当日集めるものではなく、法人で会費をいただいております。200人近く会員がおりまして、全員からではありませんが、一人3,000円会費をいただいております。会費は社会に対するいろいろなアピールに使わせていただきたいと思います。

○ 海老原会長

当日シンポジウムに集まった方から少し会費を取るということはあまり考えていないのですか。

○ 陽だまりの会

アンケートでも、「斎藤先生のお話が無料で聞けるとは思いませんでした」といった意見もあり、今のところ多くの人に来ていただきたいと思っているため、無料で開催したいと思っています。

法人名：特定非営利活動法人ハーモニークラブ

事業名：えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業

○ ハーモニークラブ

(プレゼンテーション 約5分)

○ 藪田委員

この素晴らしいえほんライブを維持していくための資金の問題だと思うのですが、一般的に補助金も助成金もなくなってきているので、自分たちでどこから収入を得なけ

ればやっていけない時代になってきていると思います。私はNPO全般のご相談を受けますが、どこもそのような話になってきています。クラウドファンディングやえほんライブの動画を撮ったりして収入につなげるとか、何か方法があるような気がするのですがそういうことは考えておられますか。

○ ハーモニークラブ

今まで助成金をいただいた活動の中で、保育サロンというのをされていて、たくさんいろいろなコンテンツができていたり、保育士や保育関係者の方に好評いただいているので、マンスリーサポーターというような形で、保育関係者の方にマンスリーでサポートしていただいて、その方たちと一緒にコンテンツを作ったり、保育園などで活用していただけるような形を作っていこうという取り組みは考えています。

○ 藪田委員

マンスリーサポーターの方には見返りを渡すのですか。

○ ハーモニークラブ

はい。自分たちや他の保育士さんのアイデアで作ったものを、自分たちの保育園で使えるように、コンテンツをお使いくださいという形でお渡ししています。

具体的には、マンスリーサポーターとなり月に何百円かお支払いいただくと、保育サロンを通じて作った歌や映像コンテンツをお渡しして保育園で使っていただけるといいう取り組みをやっていこうとしています。

○ 藪田委員

それは、著作権を持っておられるから、いわゆる「売ってる」という状態ですよ。サービスへの対価としてお金を支払ってもらっているということですよ。そうではなく、例えば、NPO法人ですから、認定NPO法人になられて、子どもの育成のために企業から寄附を集めるためのマンスリーサポーターのようなものを考えておられますか。

○ ハーモニークラブ

認定NPO法人になるために必要な100人から3,000円の寄附をなかなか集められなかったのですが、月額300円とすれば100人集められるかもしれないと考えています。

○ 藪田委員

わかりました。

○ 増井委員

先ほどの収益の確保という話に関連するのですが、例えば、2023年度の事業報告書を見ると、このえほんライブワークショップを実施された収益が8万2000円とのことですが、これは今年も実施されるのですか。

○ ハーモニークラブ

えほんライブワークショップの有料講演は、継続的にご依頼をいただいております、今年も実施する予定です。

○ 増井委員

非常に素晴らしい活動内容だと思いますけども、一部の人しか知らないですよ。普段働く時間を調整できないような人が、夜とか子育て中に、子どもにYouTubeで体験型の内容を少しでも見せると、子どもが興味を示すのではないかと思います。わざ

わざホームページを検索するのではなく、YouTubeでは「子ども集まれ」というようなテーマがあると思いますので、興味を持ったお母さんたちが、簡単に家事の合間などに子どもに見せられたら、口コミなどで広まってくるのではと思います。2023年度の事業報告書を見ますと、ブログ、LINE、Instagram、フェイスブックはありますが、YouTubeは入っていないので、YouTubeには限りませんが、クリックしたら動画が出て、体験型のえほんライブを簡単に視聴できれば、活動内容を知る人がより増えていくのではと思います。

広告の設定をしておけば、広告収入が入ってきますので、8万2000円は超えるのではないかと思います。

ハーモニークラブ

えほんライブだけでなく、その中の挿入歌を保育ソングとして音源配信したり、YouTubeにアップしたりしてそれで手遊びをするといったことをしており、親御さんや保育士さん、保育関係者の方などに活用していただいています。えほんライブ自体もですが、そちらの方も年1回収録して、YouTubeにアップするということはさせていただいています。

中嶋副会長

昨年度もお伺いしたと思うのですが、人材育成の部分について、今回も書いていただいているかと思うのですが、この活動からどのような人材を育成しようとされているのか教えてください。

ハーモニークラブ

信愛学院大学の保育学科の先生と連携し、ボランティアとして学生さんに参加していただくとともに、今後は保育サロンの中にも学生さんに入っていただき、現役の保育士さんとも連携し、保育園とつないでいけるような形をとりたいと考えています。

法人名：特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ

事業名：ICTを活用した安全運転管理

関西生活文化研究会おでかけ

(プレゼンテーション 約5分)

藪田委員

アプリを運転手さんのスマートフォンに入れると、危ない時に鳴るということでしょうか。

関西生活文化研究会おでかけ

そうです。今スピード出ますよとか、一時停止を通り過ぎてしまいましたよ、といった通知が出ます。

藪田委員

一方通行を逆走しそうな場合もですか。

関西生活文化研究会おでかけ

そうです。他にも、アプリで地図の交通情報と現在地を照合して、走っている道が何キロ制限とか、一旦停止があるなどが機械の上で分かります。

藪田委員

これは、すべての運転手が入り入れる方が良いですね。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

そうですね。運転する人のスマートフォンにアプリを入れることを考えています。

○ 薮田委員

今回は、介護サービスの車の運転手全員にアプリを入れ、運転中はアプリを立ち上げてもらうことを想定しているのですか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

はい、そうです。運転中はアプリを立ち上げてもらいます。

○ 薮田委員

その利用料がこれだけかかるということですか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

そうです。

○ 薮田委員

運転手ではなく、法人で払うということですね。

○ 中嶋副会長

一年間で10アカウント分ということは、個人の利用に関して一人一人にアプリを付与する契約だと思のですが、法人契約等はないのでしょうか。対象車両に掲載するか、そこにタブレットをつけるとか、通信の問題はありますが、そういった契約方法はないのでしょうか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

アプリ開発元などからいろいろな話を聞き検討した結果、運転の違反などを個人ごとに集計するために、各個人にアカウントを付与する形で契約したいと思っています。

○ 中嶋委員

ということは、車両を福祉有償運送以外に使用している際にも、個人アカウントを持っていると、活用できるということですか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

起動すれば現在位置も表示されますが、普段はあまり使用されないと考えています。

○ 中嶋副会長

基本の安全交通ルールを違反しないための啓発アプリであると読み取ったのですが、福祉車両の運転者に対する専門的な知識や関連する専門的な指導が入っているというのではなく、一般的な運転者に向けたものということですか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

はい。

○ 増井委員

このアプリを使用している方が車を運転しており、スピードを出しすぎた場合にアラームが鳴るのでしょうか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

車内ではメッセージが出ます。

○ 増井委員

例えば、この福祉車両でアプリを使用していることを周りの車が知らず、福祉車両が

アプリに従ったために急ブレーキを踏んでしまうなど思わぬ挙動をしてしまうと、福祉車両に法人の名前が入っていたら、せっかくアプリによりルールに従って走っているのに、周りの車に誤解を与えてしまうことが考えられます。良いことをしてるので、例えば、「AI-Contact実践運転中」といったステッカーなどを貼ると、良い活動をしている法人だな、と認めていただけたらと思います。

関西生活文化研究会おでかけ

周囲の人に見えるようにしようと思います。

増井委員

あとは収益性というか、今回の補助金は一時的なものですが、アプリを継続していくためには財源を考えないといけないと思います。

例えば、このアプリを使って実際どういう効果があったのか、短い動画でもYouTubeなどで発信して、気軽にいろんな人が見れるようにすれば、もしかしたら広告収入で3万~4万でもいけば、かなり広がると思います。

関西生活文化研究会おでかけ

ありがとうございます。

藪田委員

PR方法のところで、ホームページで「枚方市NPO活動応援基金補助事業」のページを作成、と書いていますが、具体的には、どのようにPRされるのでしょうか。

関西生活文化研究会おでかけ

こういう活動をしていることを説明したページを作って、見てもらえるように関係する方にQRコードなどをお渡しできればと考えています。

藪田委員

先ほどのステッカーと近いようなものを考えておられるのですか。

関西生活文化研究会おでかけ

それもあればなお分かりやすいかと思います。

藪田委員

もう少しPRをされてもいいのではないかと思います。

海老原会長

貴法人の有償のサービスを受けようとする方から、事故があまりにも多いという苦情があったのでしょうか。通常の事故や違反というのは、他の業種と比べて多いように思わないのですが、例えば、介護に特化した、車椅子の方を乗せられるであるとかそういったサービスを、より技術や知識を持っているドライバーが乗っていますとか、そういうものであればよりアピールになると思うのですが、ただ交通違反だけをセンサーで感知するというのは、一番大事なことでありますが、この事業全体からすると、少し効果が薄いと思います。

こういうことを言うと失礼ですが、それだけドライバーさんの質が良くないということが背景にあるのでしょうか。

関西生活文化研究会おでかけ

事故が起きたことは今までありません。ただ、運転者は年配で運転歴が長い方が多いため、注意しても聞いていただきにくい部分があります。また、人を乗せている間は気

を付けていても、誰も乗せていない帰路については運転が荒くなるのか、「この団体の福祉車両が目の前をすごいスピードで通った」といった電話が何度かありました。電話をされた方以外にも、そのように感じている方がおられるかもしれないと思い、気を付ける必要があると考えています。

藪田委員

全員、アプリの内容が報告されるということですか。つまり、事故や違反をされた人の報告があるのですか。

関西生活文化研究会おでかけ

はい、アプリを導入すると映像もすべて記録に残ります。

中嶋副会長

それを簡単に見ることができるということですか。

関西生活文化研究会おでかけ

はい。

藪田委員

それで気を付けるようになるということですね。

海老原会長

その結果、従業員の運転の質の向上につながるということですね。

(事業審査／内容については、非公開)

【 審査結果 】

法人名：特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

事業名：幼稚園退園後の親子の居場所づくり事業

結 果：団体希望寄附より 10,000 円 、一般寄附より 287,000 円を補助する。

法人名：特定非営利活動法人すこやか地域支援協会

事業名：すこやかサポーター啓発

結 果：団体希望寄附より 80,000 円 、一般寄附より 300,000 円を補助する。

法人名：NPO法人ひらかた生物飼育部LABO

事業名：ICTを活用した環境教育事業

結 果：団体希望寄附より 140,000 円 、一般寄附より 300,000 円を補助する。

法人名：特定非営利活動法人陽だまりの会

事業名：精神障害者に関する地域交流事業（交流会と講演会）

結 果：団体希望寄附より 55,000 円 、一般寄附より 50,000 円を補助する。

法人名：特定非営利活動法人ハーモニークラブ

事業名：えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業

結 果：団体希望寄附より 40,000 円 、一般寄附より 300,000 円を補助する。

法人名：特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ

事業名：ICTを活用した安全運転管理

結果：補助額を0円とする。

海老原会長

本日の補助事業の審査については、市長へ答申する予定となっております。本日の審議内容を事務局でまとめた後に、審査会委員で確認し答申を行うということで、いかがでしょうか。

各委員

異議なし

<案件（2）その他>

海老原会長

その他案件がありましたら、事務局よりよろしくお願ひします。

事務局

その他案件はございません。

海老原会長

それでは、これをもちまして、令和6年度第3回枚方市NPO活動応援基金支援審査会を終了します。本日は、ありがとうございました。